

『中小企業白書』2012年版

試練を乗り越えて前進する中小企業

49回目となる今回の中小企業白書は、第1部「2011年度の中小企業の動向」、第2部「潜在力の発揮と中小企業の役割」、第3部「中小企業の技術・経営を支える取組」の3部構成です。本稿では、第1部及び第2部の概要を掲載し、次回において第3部の概要を掲載致します。

第1部

2011年度の中小企業の動向

◆景況感

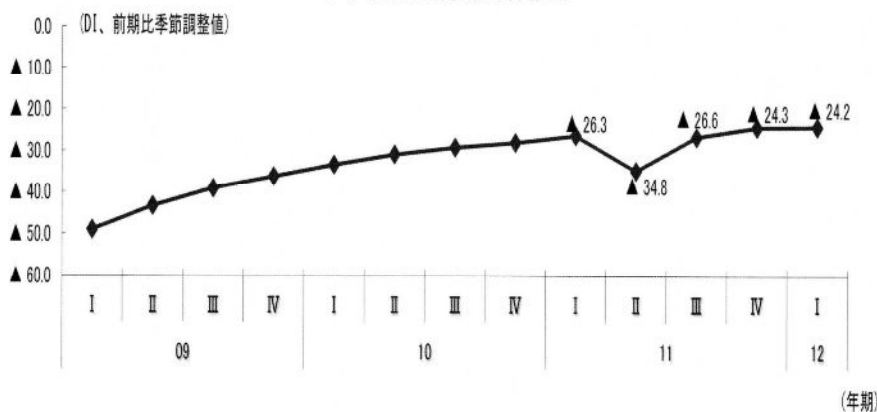
中小企業の景況は、このところ横ばいの動きとなっている。地域別にみても、東北を始め各地域で持ち直しの動きが見られるが、改善のテンポは緩やかである。

◆収益・生産

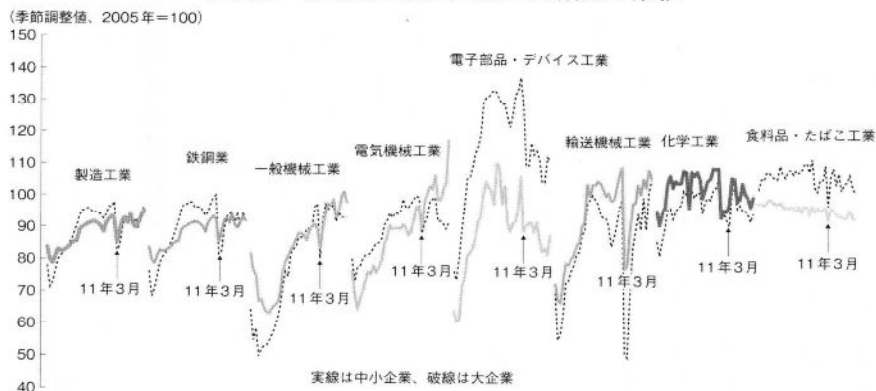
中小製造業の生産は、6月頃には大震災前の水準にまで回復し、その後も、持ち直しの動きで推移。震災直後の落ち込みが特に大きかった輸送機械工業も、その後急速に回復し、8月頃にはおおむね大震災前の水準に回復した。

しかしながら、電子部品・デバイス工業では、大震災後も生産の低下が続いている。

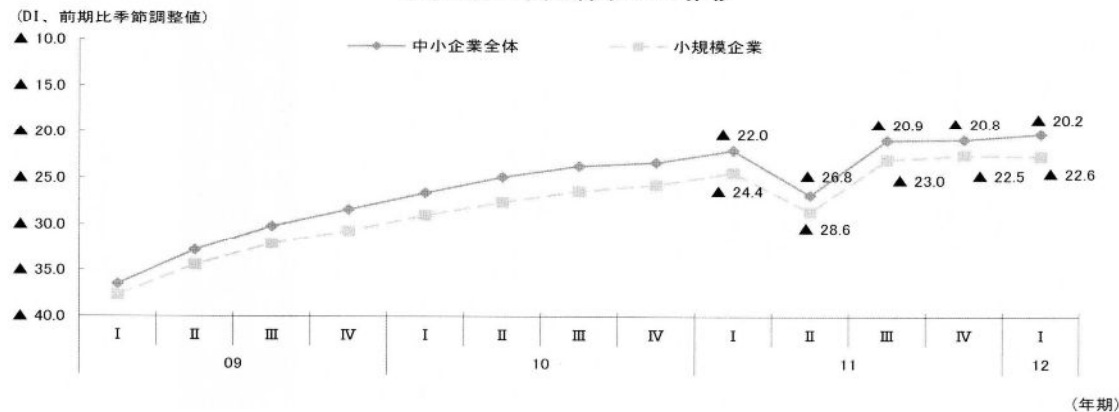
中小企業の業況判断DI



規模別・業種別の製造工業生産指数の推移



中小企業の資金繰りDIの推移



◆資金繰り

大震災直後に悪化した中小企業の資金繰りDIは、震災直後の2011年第3四半期には回復した。

◆雇用

中小企業の従業員過不足D-Iは、非製造業で不足感が高まっており、全産業でも3四半期連続でマイナスとなっている。

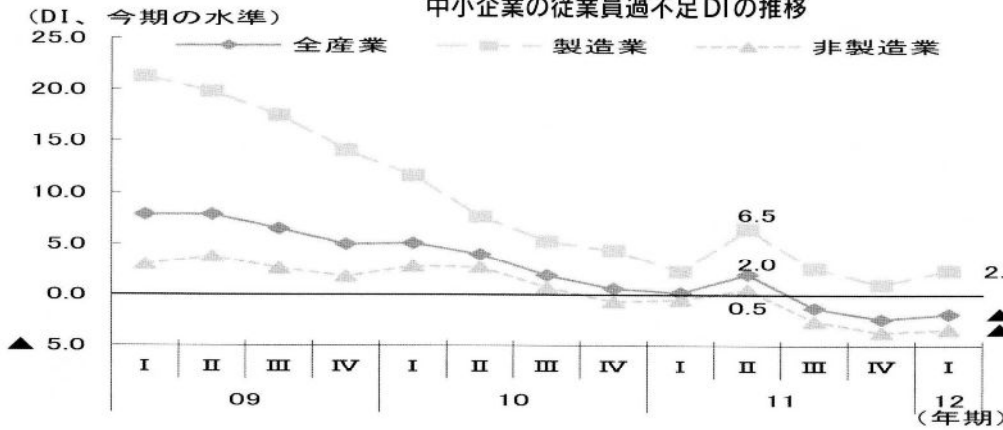
◆円高の影響

円高の継続は、輸出を行う中小企業のみならず、取引先のコスト削減要請、需要減等により、国内で活動する中小企業の収益環境にも影響を及ぼしている。

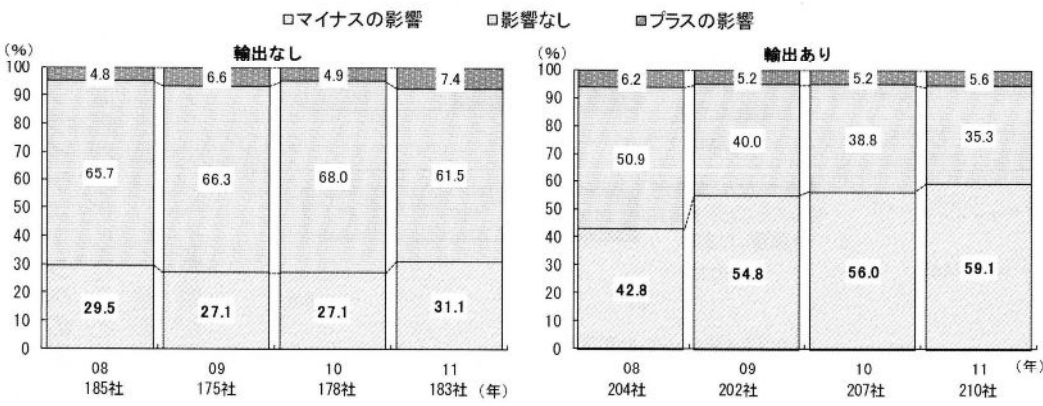
◆電力使用額の動向

中小企業の電力購入費が原材料コストに占める割合は総じて高く、全産業平均で見ると大企業製造業の割合の1.4倍程度。

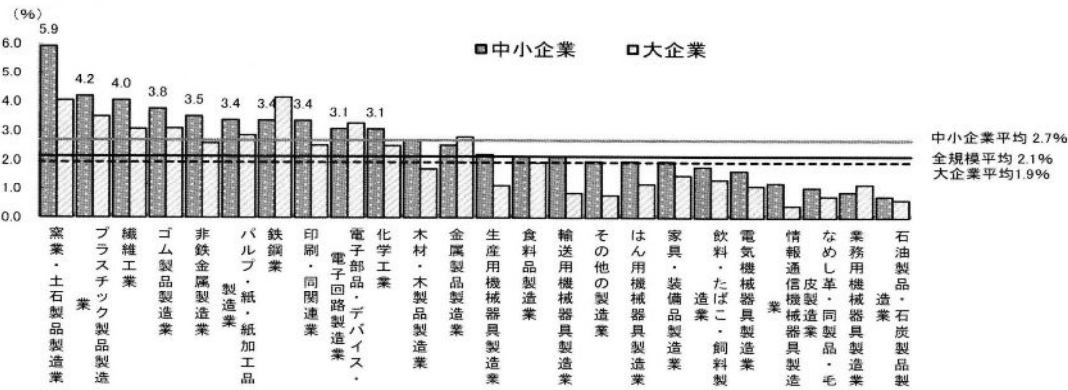
中小企業の従業員過不足DIの推移



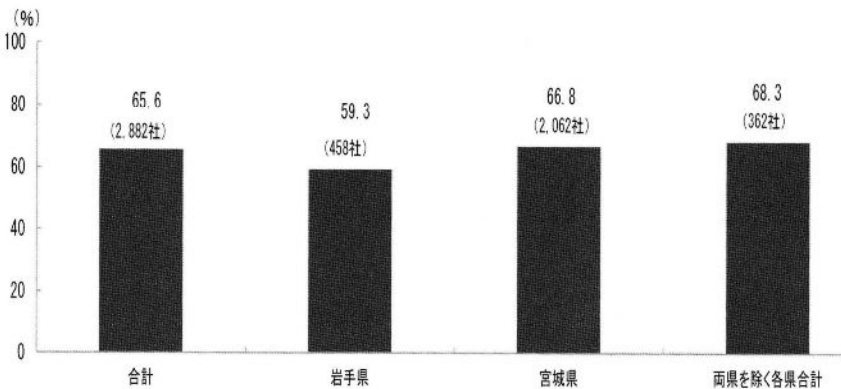
円高の影響



規模別・業種別の購入電力使用額が原材料使用額等に占める割合



大震災による津波浸水区域における企業の事業の継続・再開の状況



◆事業の継続・再開の状況
津波浸水地域（警戒区域を除く）の事業継続・再開割合は7割に満たない状況。

◆第2部
潜在力の発揮と中小企業の役割
【第1章】
大震災からの復興と
中小企業の役割

◆被災地域の中小企業の強みを

活かした取組事例

地域に根ざした中小企業が、地域ニーズの把握力や行動力を発揮して、まちづくりや地域の復興に取り組み姿を紹介する。

(株) ささま (宮城県名取市)

本社工場が流され、一度は事業継続を断念しつつも、周囲の励ましや期待に、事業継続を決意し、手作業で、笹かまぼこを作りつつ、工場の建設・再稼働を目指している。

(株) 復興屋台村 (宮城県気仙沼市)

地域の賑わいやコミュニティを回復させるには、地域の事業者の事業再開が必要だと建設された、飲食店・商店の集まる仮設商店街。

志賀塗装(株) (福島県いわき市)

地域の顧客のニーズに向き合い、既存の技術を組み合わせ、放射能除染工法の開発に取り組んでいる。

くんちえ広場ならは

(福島県いわき市)

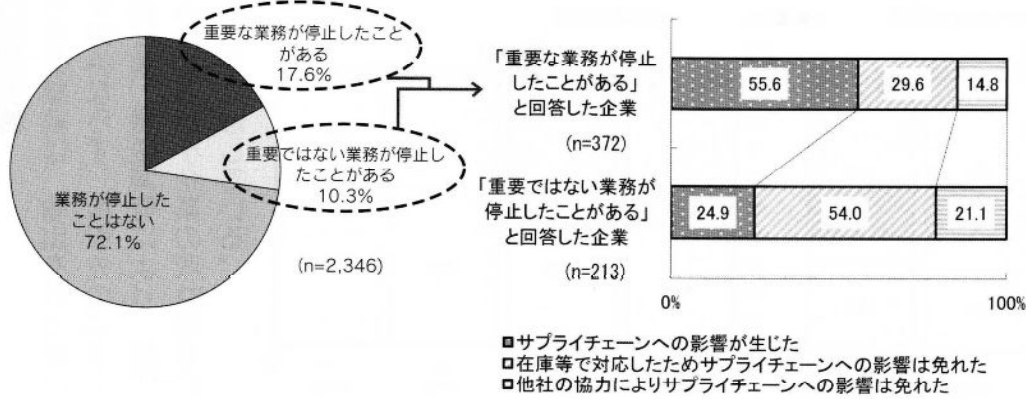
警戒区域指定による避難から、仮設住宅に暮らす人々のため、仮設店舗や無利子融資制度を活用し、避難先で商店を再開させている。

◆大震災による

サプライチェーンへの影響

重要な業務が停止したことがある中小製造企業のうち、過半数がサプライチェーンへの影響が生じたと回答。

取引先の業務停止や災害等による自社の業務停止経験とサプライチェーンへの影響



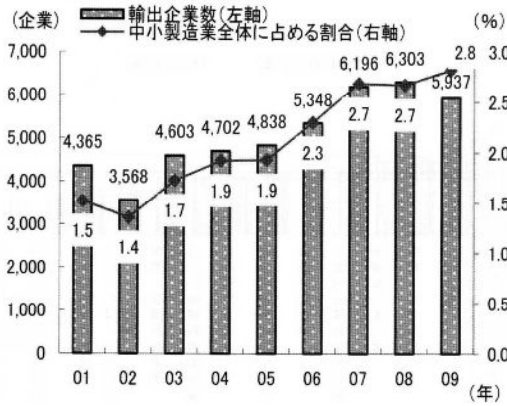
【第2章】

需要の創出・獲得に挑む事業活動

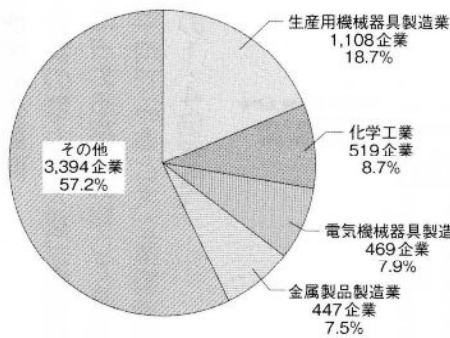
◆海外展開の動向

海外展開を行う中小企業は中長期で見れば拡大傾向にある。しかし、海外展開をする企業が占める割合は、必ずしも高くない。

輸出企業の数と割合の推移 (中小製造業)



輸出企業の業種構成 (中小製造業)

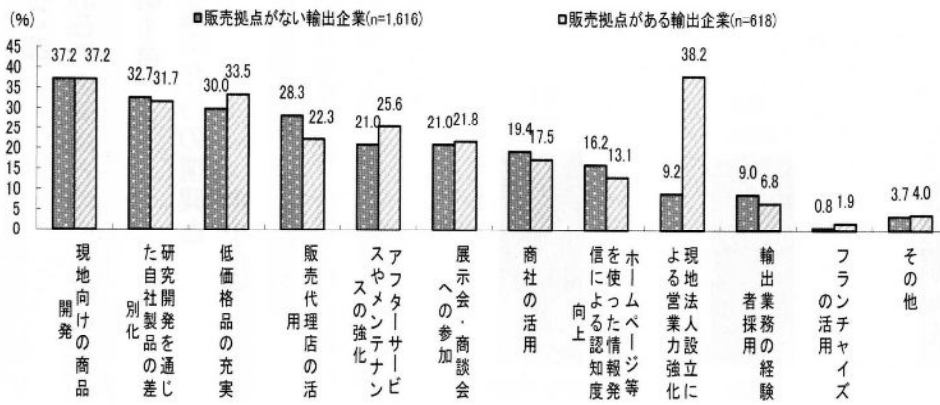


◆海外販路開拓

継続して海外展開を行うためには、現地向けの商品開発、アフターサービスの充実等が必要。

中小企業は開発力、マーケティング力、アフターサービス、現地での対応力を発揮して、海外市場を開拓。

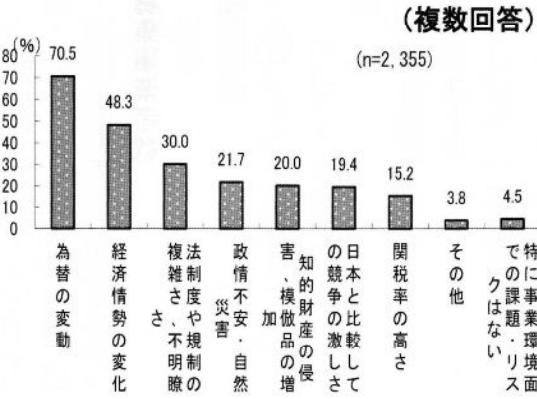
効果的な海外販路開拓の取組 (複数回答)



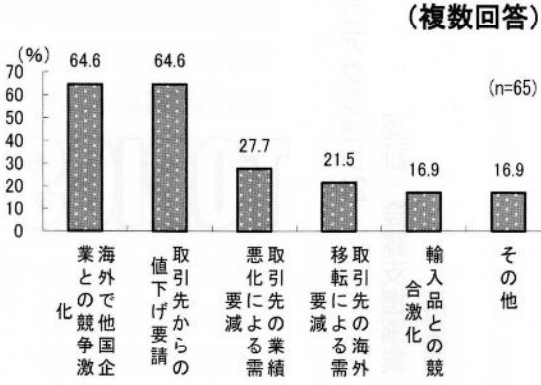
◆海外展開後の課題・リスク

輸出で直面している課題・リスクとしては、為替の変動が多く挙げられている。

輸出企業が直面している事業環境面の課題・リスク



円高環境下における減益の原因

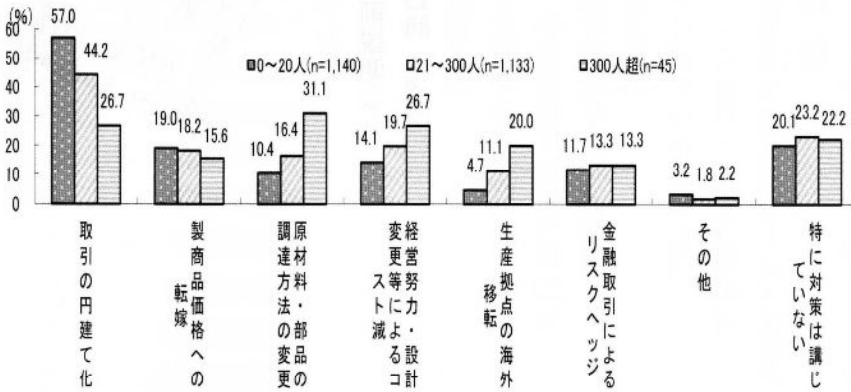


◆リスクへの対応

輸出の為替リスクへの対応策としては、中小企業では、取引の円建て化がとられている。

円建て企業にとって海外での製品価格上昇をもたらす円高にかかわらず、中小企業が輸出で海外販路を確保するためには、商品の差別化のための商品開発・研究開発等不断の取組が重要。

従業者規模別の輸出企業の為替リスクへの対応策（複数回答）

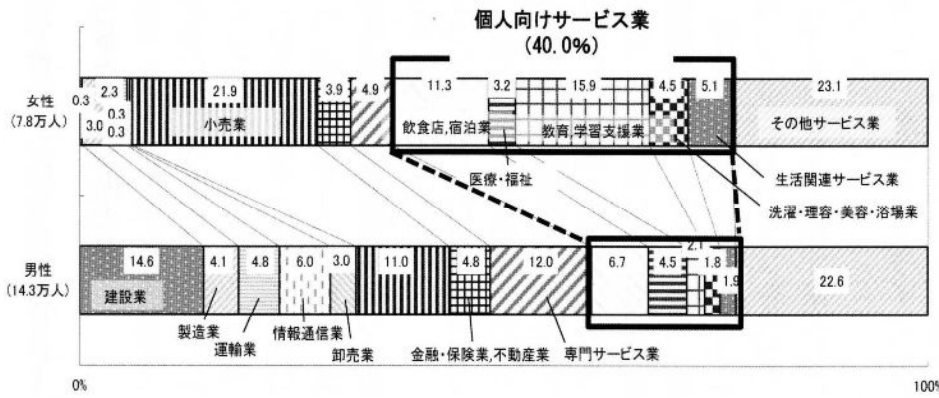


◆社会環境の変化に対応する

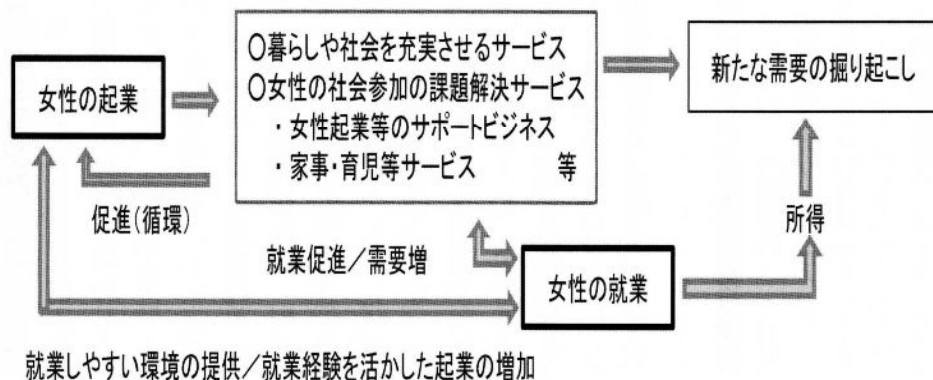
女性の事業活動

人口減少に伴い内需の減少が見込まれるが、個人向けサービス分野の消費は拡大傾向。女性起業家が提供するサービスは、個人向けサービスの需要を掘り起こしている。

男女別の起業家の起業分野



女性の起業と就業の関係



こうした新たなサービスの提供は個人の生活を充実させるだけでなく、家事・育児を負担する女性が就業する際の課題解決につながり、女性の社会参加やそれに伴う世帯収入の増加、更なる課題解決サービスの拡大という好循環をもたらす可能性がある。